

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、薬剤部、外来化学療法センターで使用する抗がん剤による設備の汚染調査を行います。

この調査は、患者さん、医療スタッフに対する抗がん剤曝露の実態を調べ、より安全な病院環境を作るために重要なものです。

調査は患者さんの受診やお体に影響のない形で実施いたしますので、ご安心ください。また、調査シート等が目につくこともあるかと思いますが、触らずに、通常通り受診・治療を行ってください。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

愛媛県がん診療連携拠点病院における多施設共同抗がん薬曝露実態調査

【研究機関】

愛媛大学医学部附属病院 外来化学療法室
愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

【研究責任者】

薬師神芳洋（腫瘍センター・緩和ケアセンター センター長兼教授）

【研究代表者】

愛媛県がん診療連携協議会 がん集学的治療部会 NHO 四国がんセンター
青儀健二郎

【目的】

本調査の目的は、抗がん剤の調製・投与の際に、どの程度抗がん剤によって病院環境が汚染するかを調べることです。この調査により、医療スタッフが抗がん薬投与に関わる際のリスクの実態を明らかにし、院内医療スタッフに対する啓蒙につなげることができます。

【研究の方法】

抗がん剤による病院環境の汚染を調べるために、抗がん剤を測定できる調査

シートを3月5日（月）～9日（金）まで外来化学療法室および薬剤部製剤室の床、点滴台の下などに設置し、汚染の状況を調べます。また、薬剤師は抗がん剤の混注を行う際にはこの調査シートの上で調製作業を行うこととなります。

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

各施設での抗がん剤による汚染の状況を把握し、病院環境の改善に役立てます。

【倫理面での配慮】

本調査は介入研究ではないため、研究代表者施設において倫理審査・承認を経たうえで、当院の臨床研究倫理審査委員会にて審査し、病院長の承認を得ています。各調査施設においては調査目的・方法を明示した院内掲示、ホームページに掲載することで倫理面での配慮を行っています。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院臨床腫瘍センター・緩和ケアセンター 薬師神芳洋
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5969

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 済川聡美
Tel: 089-960-5746

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹範明
Tel: 089-960-5744